

「川の思い出」

青森県県土整備部河川砂防課長
白川 裕彦

私が生まれたのは旧車力村富范、津軽藩最後といわれる十九世紀中頃の新田開墾で開田された十三湖南岸一帯にあり、西に屏風山、東には山田川と岩木川が流れています。

地名からも想像されるように、私が生まれた頃は「腰切田」「乳切田」と呼ばれ、腰までめり込むような水田地帯で、嫁も来ないと言われるような所でした。

山田川はゆっくり流れ、水は濁っていましたが、川の上流の清流を知らない私にとっては、それが普通なんだと思っていました。



そんな山田川ですが、今のようにゲーム機など無かったので、魚釣り、石投げ、カニ捕りと川で遊んでいました。時には、2、3 kmも離れた岩木川までも行っていました。当時は津軽大橋の工事が盛んに行われていた頃で、橋台・橋脚が造られ、橋桁が架けられる工事現場を興味津々に眺めていました。

小学校のバス遠足は、昭和35年に完成したばかりの目屋ダムで、初めて見る目屋ダムは巨大で、衝撃的でした。この頃の記憶が今の仕事の原点だったのかとも思います。

目屋ダムは私の退職の年と同じ三年後に役目を終えます。

何か運命的なものを感じるとともに、何かと川との関わりが多いこれまでの人生だったと今更ながら思う今日この頃です。

今年は、あおもりの川を愛する会の浅水川源流の標柱建立や鳶川清掃活動に参加し、会員の皆さんと有意義な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

最後に、あおもりの川を愛する会の会員におかれましては、あおもりの川や水辺のことを日々思い、仕事や遊びに励まれますようお願いいたします。

目次:

「川の思い出」	P1
平成24年度活動報告 堤川を愛する会	P2
平成24年度活動報告 サークル「母なる川」	P3
平成24年度活動報告 ジョイリバーおいらせ	P3
総会・講演会	P4
浅水川源流の地	〃
河川技術講演会 鳶川清掃活動	P5 〃
イワナ産卵床づくり	P6
平成25年度あおもりの川 を愛する会総会のご案内	〃
事務局より	〃

ハイライト:

- ・「腰切田」「乳切田」?(P1)
- ・堤川からハゼは消えたのか?(P2)
- ・日本統治時代には湯治場として?(P3)

●堤川を愛する会 平成24年度活動報告

サークルリーダー 佐藤 信一

当会は「川と遊び、川に学び、少しは社会貢献」を活動基本方針としてまいりました。

24年度は、まさにメンバーの支援を受けて基本活動を全て実施する事が出来ました。

①植林行事＝少しは社会貢献 開催日：5/12

参加人員＝6名

青森市水道部さんご指導の下、天田内地区に小雨ではありましたが自然林を散策しながら実施致しました。



植 林

②駒込ダム見学会＝川に学び 開催日：6/28 参加人員＝11名

青森県駒込ダム建設所さんの案内を頂き、ダム軸までの踏査を行い参加者一同将来のダムを夢想しながら有意義な半日を過ごしました。ただ、現地までの徒歩ルートは急峻で険しい事を記しておきます（参加メンバーの平均年齢は50代後半？筆者予測）。



③ハゼ釣り＝川と遊び 開催日：10/20 参加人員＝6名（懇親会のみ＝2名含み）

待望の「ハゼ釣り」がようやく実施できました。ここ3年ほど全然釣れず、「堤川からハゼは消えたのか？」と思われておりましたが、メンバーの事前調査の努力もあり当日の天候もまずまずの中で、開始時は全く竿先に変化が見られず諦めかけた夕方一斉の竿先に当たりが・・・爆釣となり早速、夕方からの懇親会ではハゼ三昧の一時を堪能致しました。堤川に感謝です。

今年度の「堤川を愛する会」は、メンバー並びに関係者の御支援のもとに活発な活動を展開する事が出来ました。今後もメンバー以外の方々へも行事案内を発信して参りますので、共に「堤川との戯れ」を楽しんで頂きたく考えております。



駒込ダム見学会



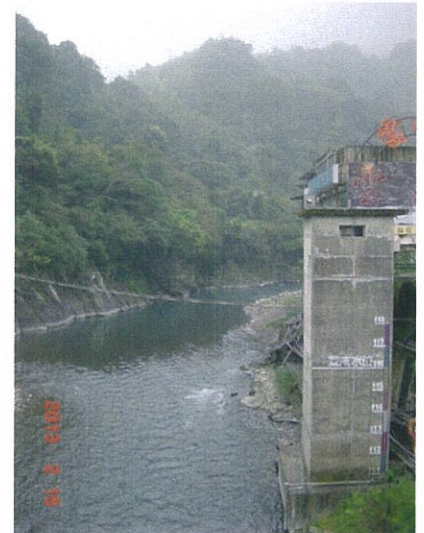
ハゼ釣り

●サークル「母なる川」 平成24年度活動報告
サークルリーダー 和島 隆志

サークル「母なる川」では2012年度の活動として、本年2月に台湾の新店溪を視察して来ました。

新店溪(しんてんけい)は台湾三大河川「淡水河」の支流の一つで、台北市街の東南部に位置する雪山山脈を水源に約80kmの流れを有し、下流で大漢溪と合流し淡水河となり東シナ海に注ぐ河川です。

上流部はさらに北勢溪、南勢溪に分かれていて、特に北勢溪は翡翠ダム等の施設も有ることから、新店溪としての水量も多く、台北市全域の水がめにもなっています。今回は台北市から新店溪、そして南勢溪へと川沿いの曲がりくねった山道を上流部に進み烏来(うらい)までの行程でした。険しい山間の地域、かつては秘境と言われていた烏来には原住民族タイヤル族が多く住み、南勢溪流沿いには多くの泉源があり、かつて日本統治時代には湯治場として整備されたそうです。



2013. 2. 15



2013. 2. 15

タイヤル族は台湾原住民族14部族の中でも最も勇猛果敢な民族で、日本の支配に最後まで抵抗した民族だと言われていますが、現在は烏来を訪れた日本人を歓迎してくれているようでした。大都市地域への水がめとして、人々の保養の場として、原住民族の文化継承の場としての新店溪。また、秘境と呼ばれる地に安住を求めざるをえなかったことやかつての日本軍に対しての感情を転じ、民族のあり方に力を傾注させるタイヤル族の姿勢、そのことに複雑さとたくましさを感じつつ視察を終えた次第でした。

●ジョイリバーおいらせ 平成24年度活動報告
サークルリーダー 中野渡 悟

ジョイリバーおいらせでは、おいらせ知の会と共同で例年ヒバの植樹と川くだりを実施しています。今年は24年6月30日に植樹を、24年7月28日に川下りに変えてカヌー体験教室を実施いたしました。どちらもたくさんの会員の参加があり、また地域の子供会の参加もあり、植樹31名、カヌー体験で29名の参加をみました。川下りはここ4年ほど実施していませんが夏の渇水期でありスタッフも多く必要とすることから、これからも子供が参加するものはカヌー体験にしぼり川下りは大人たちだけで実施したいとの意見が多くなっています。

会員の方々の意見ではもう少し水量が多い河川で川くだりをしたいとのことで何とか実施したいと思っております。今まではジョイ【楽しむ】が少々足りなかったかと思うので原点に返り川を楽しむことを企画したいと思っています。

ヒバの植樹



カヌー体験



●平成24年度 総会・講演会

あおもりの川を愛する会 事務局

<平成24年5月26日（土）於：青森国際ホテル>

平成24年度総会を青森国際ホテルに於いて開催しました。当日は日本河川協会の常務理事住吉豊明氏に来て頂きご挨拶を頂きました。

総会終了後、あおもりの川を愛する会 三村三千代副会長が講師となり、演題「徒然草に見る人生の知恵」で講演をして頂きました。（参加者50名）



日本河川協会 住吉豊明常務理事



三村三千代副会長

●浅水川源流の地

あおもりの川を愛する会 事務局

<平成24年7月31日（火） 於：浅水川源流>

平成24年7月31日午後1時半ころ泉集会所（青森県三戸郡三戸町野沢平）に集合し、建立の場所を決めそれぞれツルハシ・スコップを交代しながら穴を掘りました。そして標柱を前面からと側面からの位置を確認して土を埋め戻しました。

当日は30℃をこえる気温で暑さもピークの時間帯、参加された方は、少し大げさですが汗もとまらない状態で作業をして頂きました。同会は毎年1ヶ所、源流の地に標柱を建立しており、今年で7柱目となりました。（参加者20名）

（過去標柱実績：大畑川、野辺地川、蟹田川、田名部川、土淵川、天田内川）



記念撮影

●平成24年度 河川技術講演会
あおもりの川を愛する会 事務局

＜平成24年8月4日（土）於：五所川原市ふるさと交流圏民センター＞

五所川原夏祭り「立ちねぶた」の開幕日に、五所川原市平山市長挨拶を始めとしてオルテンシアで「河川技術講演会」を開催しました。

青森河川文化講演会は平成10年から開催され今回で15回目となります。

講演会の内容は「東日本大震災の教訓～河川技術の課題と解決の方向性～」（講師 国土交通省東北地方整備局 工藤啓河川部長）と「湖上のロマン～地下に眠る真実」（講師 弘前大学 小岩直人教授）の講演が行われました。

最後に三村知事よりご挨拶を頂きました。（参加者300名）



工藤啓河川部長



小岩直人教授



三村知事

●平成24年度 蔦川（つたがわ）清掃活動
あおもりの川を愛する会 事務局

＜平成24年9月1日（土） 於：奥入瀬溪流・蔦川周辺＞

第10回目となります蔦川（旧十和田湖町）の清掃活動を行いました。作業前、各自に分別袋を渡して資源ごみ・燃えないゴミと分けて拾って頂き、会員ほか約90名が参加されごみ拾いを行いました。

川岸・道路沿いには相変わらずジュースの空き缶・タバコの吸殻等落ちていました。それでも毎年行っている継続の成果でゴミは年々少なくなってきました。

当会としまして年1回の清掃活動ですが、今後も継続し青森県に来て頂いた観光客に綺麗な蔦川を見て頂きたいと考えております。



上北地域県民局 三上俊孝部長



参加者写真

●イワナ産卵床づくり

あおもりの川を愛する会 事務局

<平成24年10月4日（木）於：鳶川小溪流>

本来、イワナの日ということで10月7日に行うべきでありましたが、今回は日曜日でありましたので、10月4日に十和田湖近郊の鳶川の小溪流に今回で6年目になります「イワナの人工産卵床」を2ヶ所設置しました。当日は雨降りで作業が大変でした。

作ってから約1ヶ月後の11月7日に産卵を確認いたしました。

（参加者23名）



確認された卵



人工産卵床



参加者

●平成25年度 あおもりの川を愛する会総会のご案内

あおもりの川を愛する会 事務局



平成25年度の総会を5月18日（土）に予定しております。

総会後には、講演会の開催も予定しております。詳細につきましては、後日改めてご案内いたします。ご繁忙中恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

●あおもりの川を愛する会 事務局より

あおもりの川を愛する会

「あおもりの川を愛する会」は今年で15年目を迎えました。会員数は現在208名となっています。今年度も、会員の協力のもとさまざまな活動を行なう事が出来ました。これからも会の活性化が図れるよう、頑張っていきたいと思っております。ご協力よろしくお願いたします。

【事務局】 〒030-0111
青森県青森市荒川字柴田102番地1

TEL:017-729-0922

FAX:017-739-3561

E-mail:kon-h@nishidagumi.co.jp